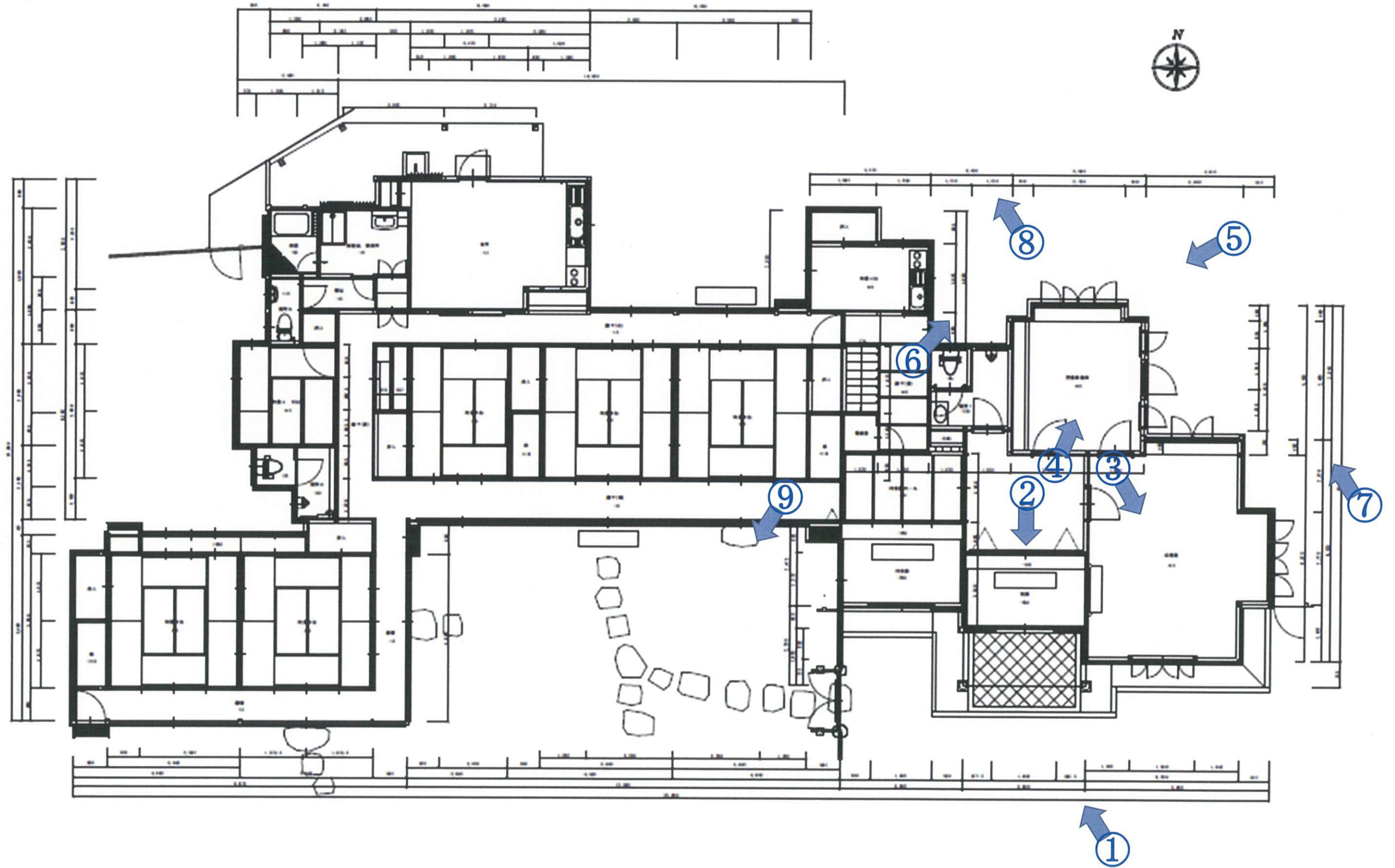
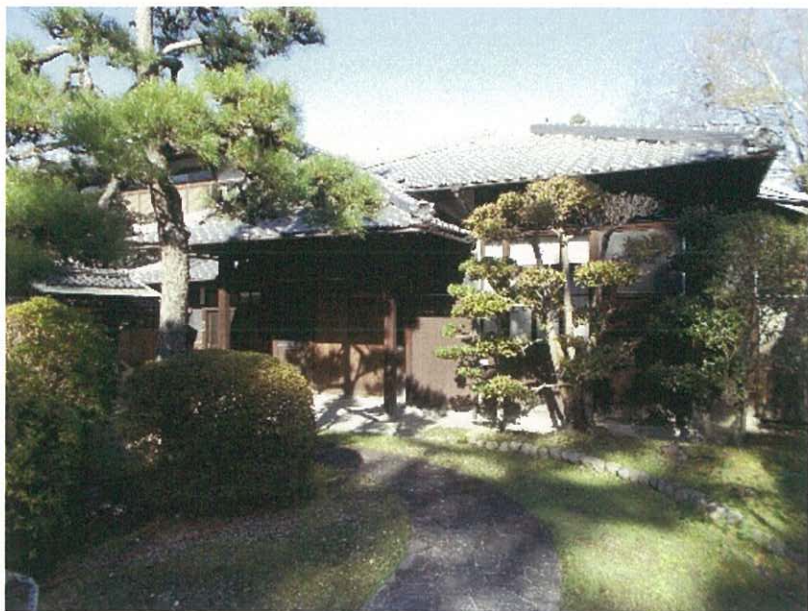


副知事公舎 拡大平面図





① 玄関・アプローチ



② 玄関



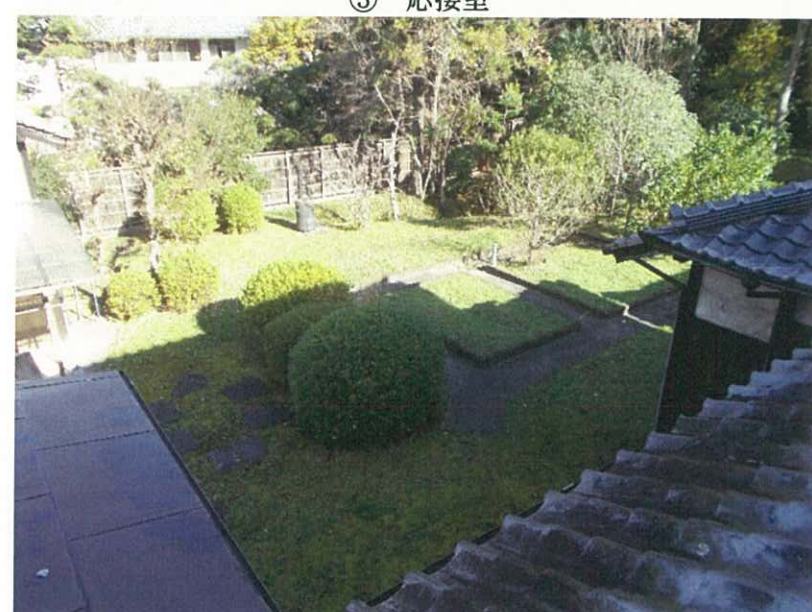
③ 応接室



④ 控室兼書庫



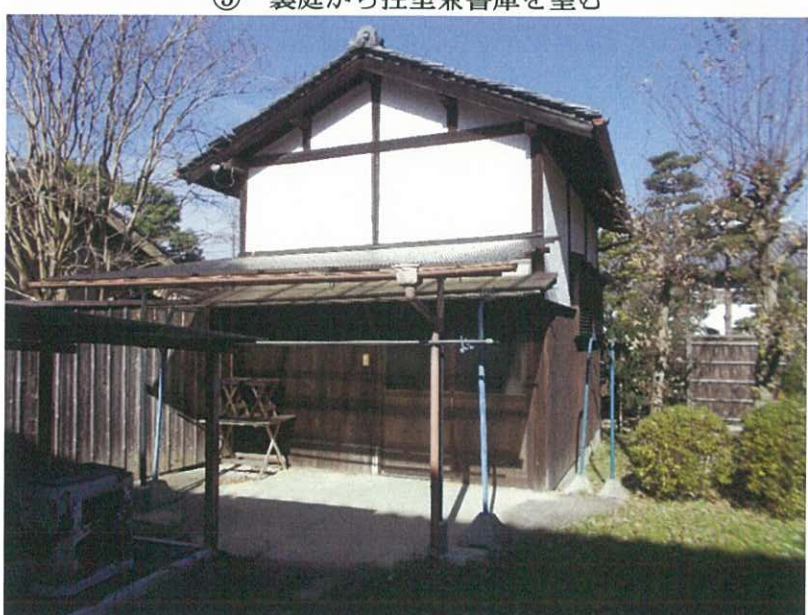
⑤ 裏庭から控室兼書庫を望む



⑥ 2階から裏庭を望む



⑦ 裏庭と倉



⑧ 倉



⑨ 中庭

(3) 旧青少年会館

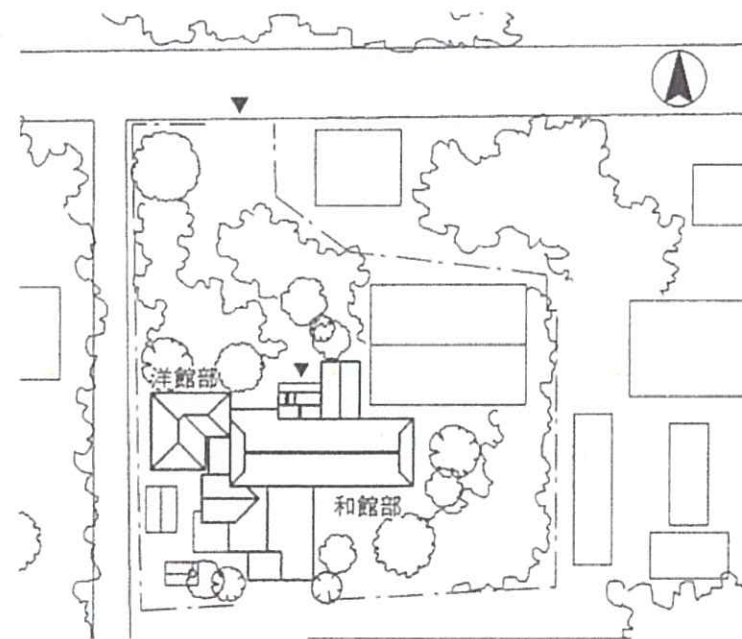
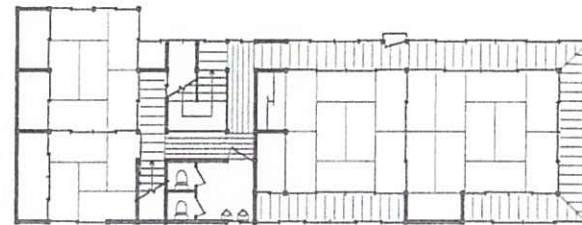
①歴史的経緯

- ・旧青少年会館は、かつて興福寺子院が所在していた箇所へ、昭和初期に邸宅（旧木本家）として建てられた。和風住宅に洋館を設けた邸宅である。
- ・当建築物は、昭和32年に県の所有となり、青少年会館として活用されていた。

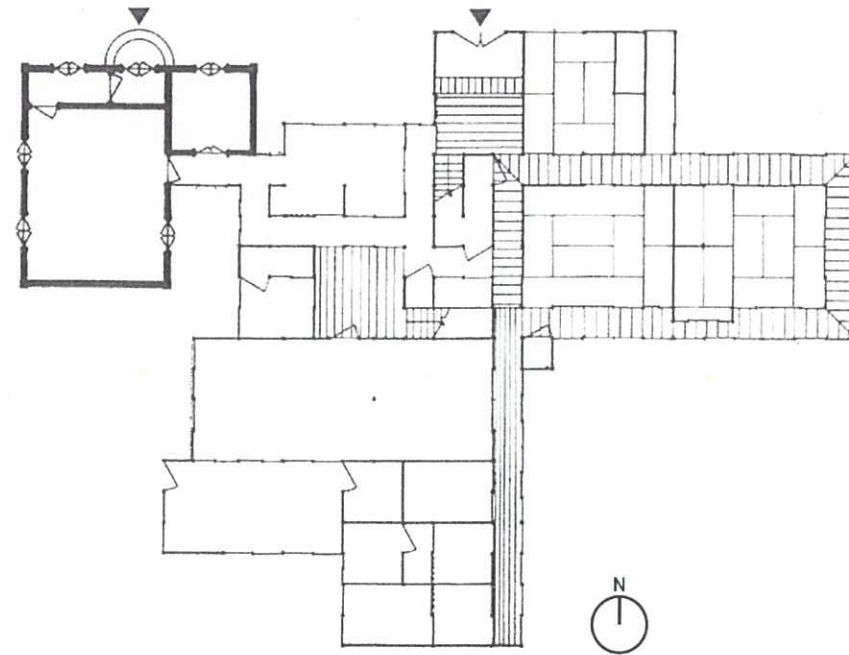
②構造意匠等の特徴

- ・和館部1階は、床の間を備えた十畳の座敷2室が中心で、四周に縁と廊下を廻す点が特徴的であり、3方が内法の高いガラス戸を介して庭に開き、明るい座敷となっている。床の間自体は簡素な作りであるが、東の床の間には書院窓を設けている。
- ・和館部2階は、座敷が2室あるが、保存状態が悪い。
- ・洋館は、煉瓦基礎の上に立ち、木摺下地にモルタル塗で壁面を仕上げ、四隅に柱形をつくる。大小2室からなり、大部屋前面に同幅の前室を設け、そこに入口を開く。入口の擬アーチ破風、柱形柱頭の模様、軒天井とそれを支えるコンソール、窓の三角破風と柱形など、細部は緻密な意匠でつくられている。
- ・全体的に保存状態は良くないが、和風住宅に独立した洋館がつく、奈良市内では珍しい例である。

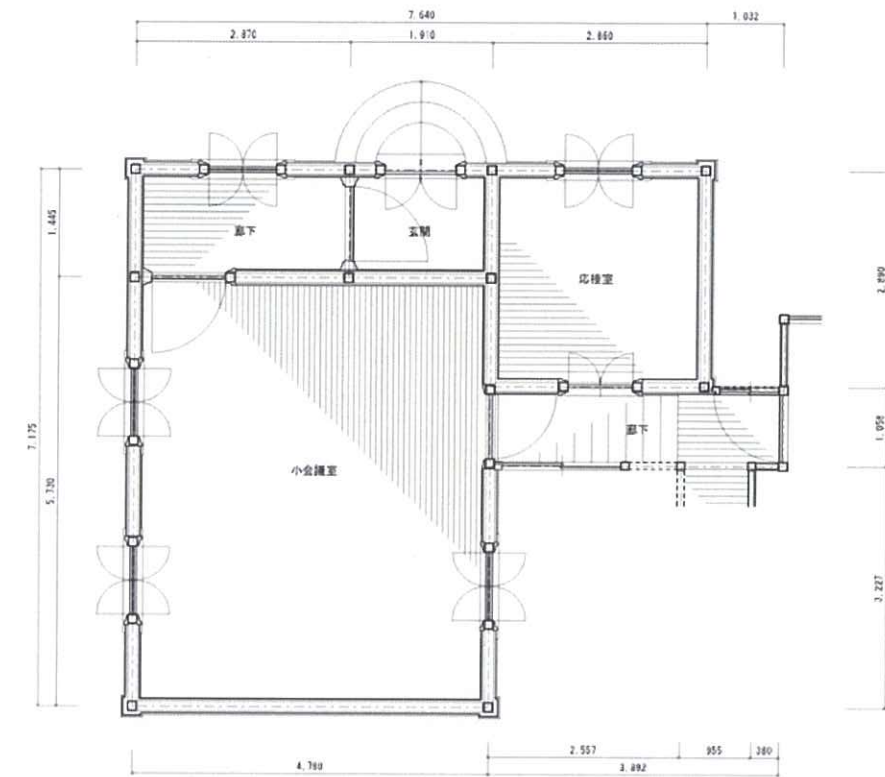
和館部	建築年	昭和初期
	構造	木造2階建 入母屋造棧瓦葺き
洋館部	建築年	昭和初期
	構造	木造2階建 入母屋造棧瓦葺き
建築面積	483.91 m ²	



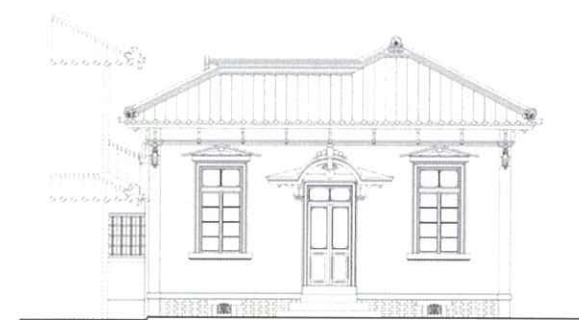
旧青少年会館 配置図



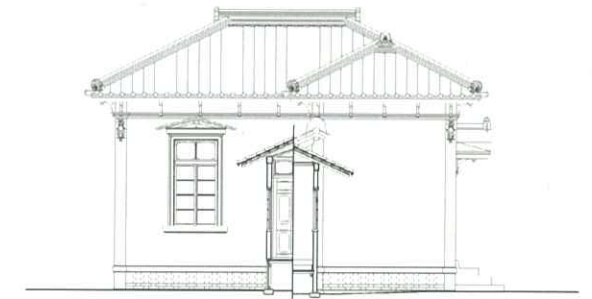
旧青少年会館 平面図 上2階・下1階



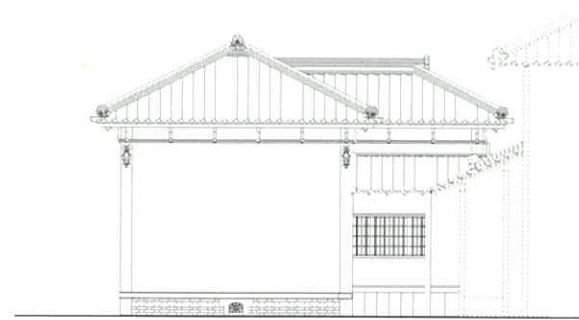
旧青少年会館 洋館部詳細平面図



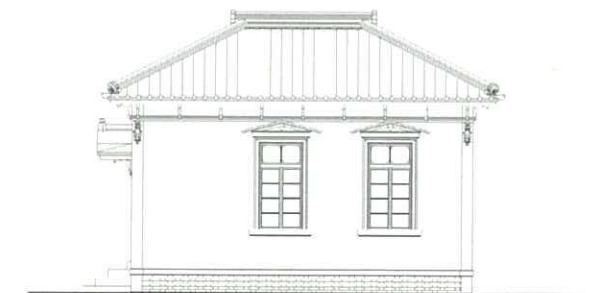
旧青少年会館 北 立面図



旧青少年会館 東 立面図

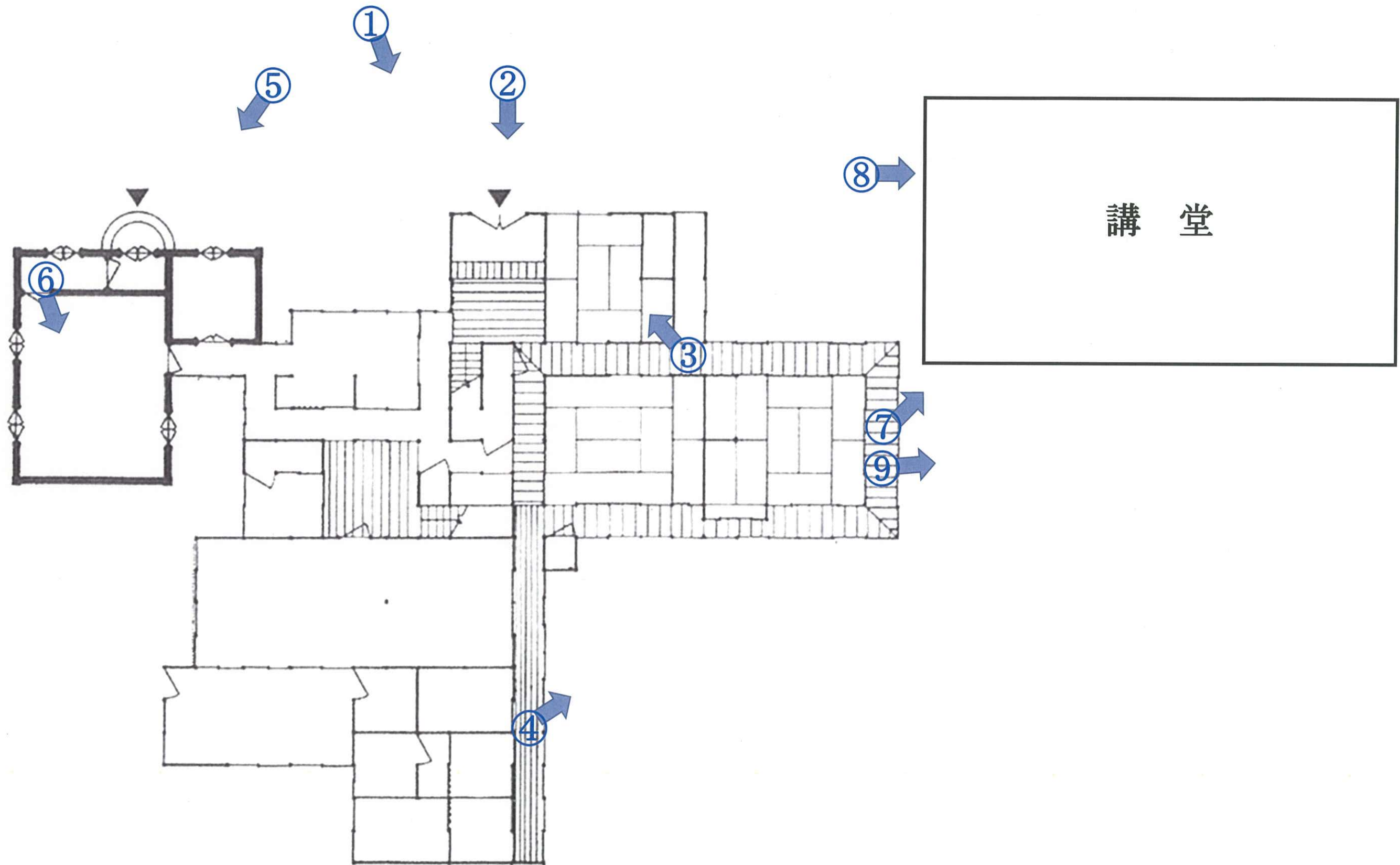


旧青少年会館 南 立面図



旧青少年会館 西 立面図

旧青少年会館 拡大平面図

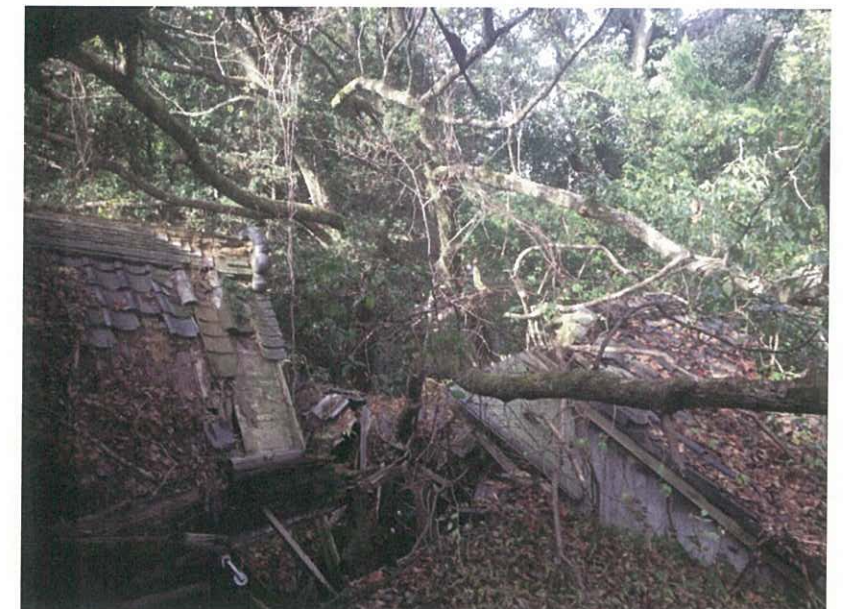




① 旧青少年会館 正面



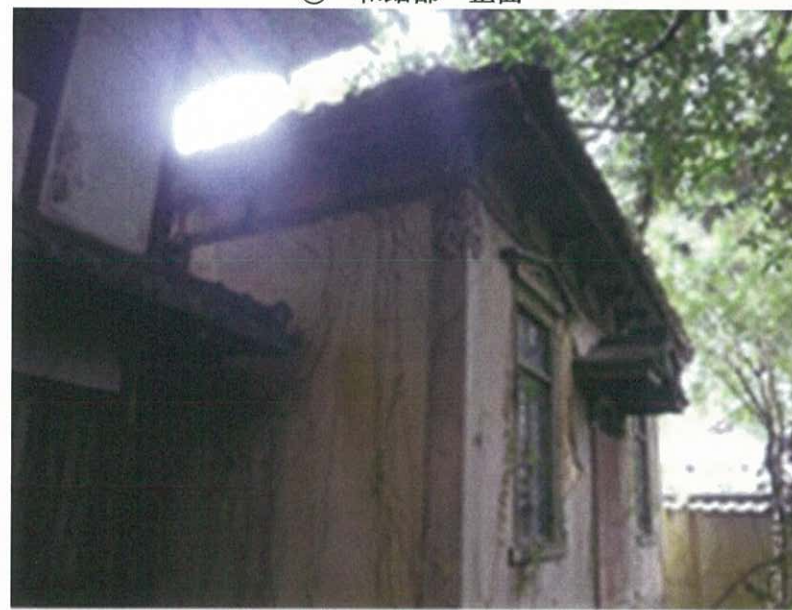
② 和館部 正面



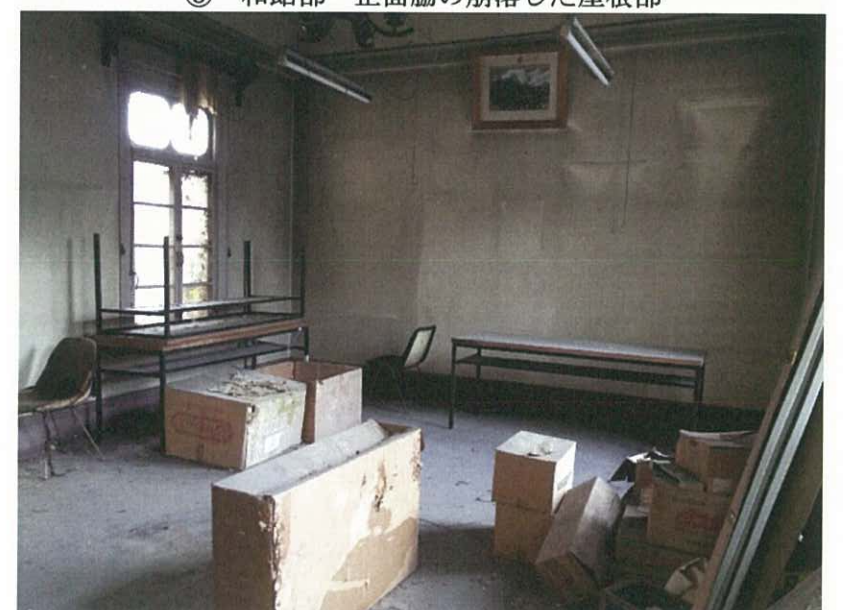
③ 和館部 正面脇の崩落した屋根部



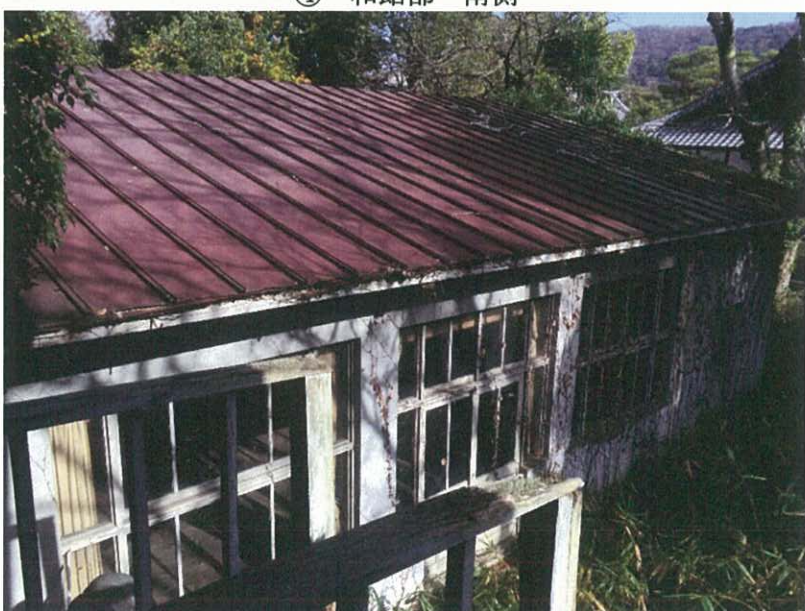
④ 和館部 南側



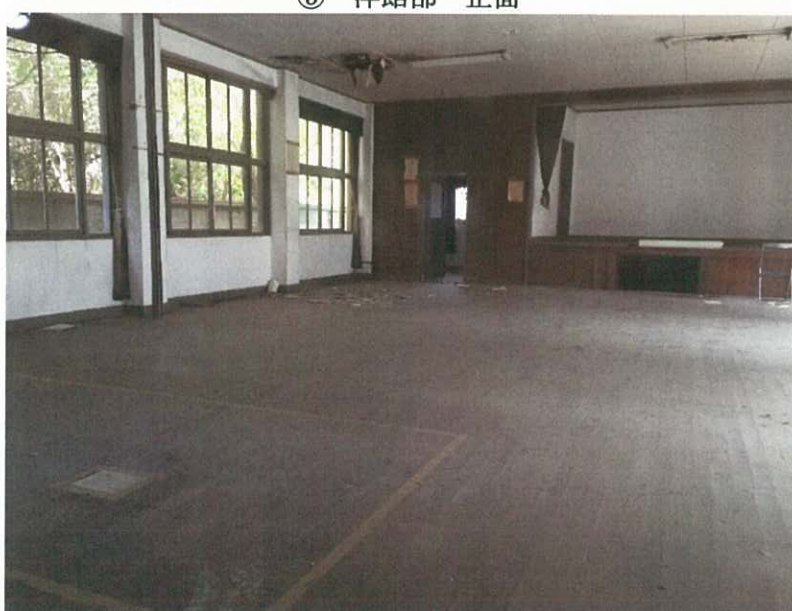
⑤ 洋館部 正面



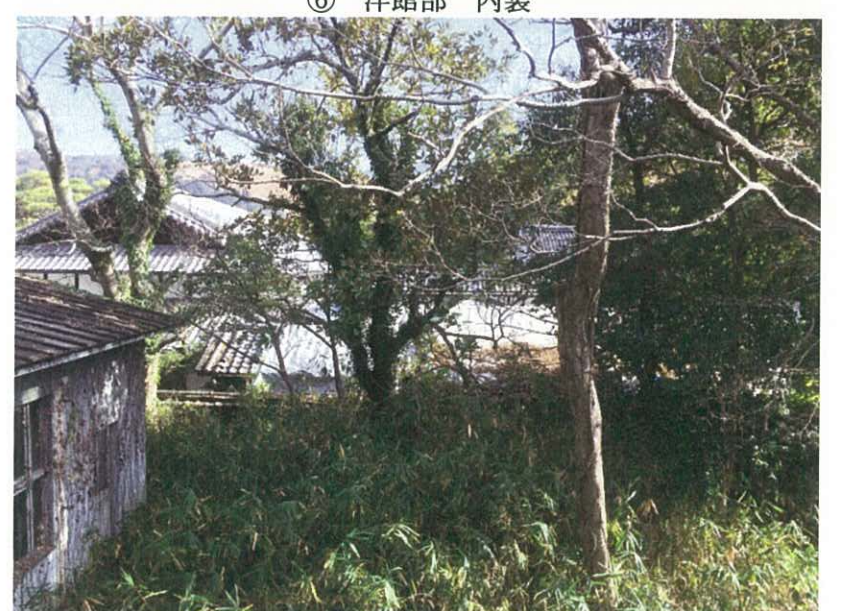
⑥ 洋館部 内装



⑦ 敷地内にある講堂



⑧ 講堂 内装



⑨ 和館2階より吉城園方向を望む